



02 人材流出の危機

[ふれあいマンスリー]

03 賃金が上がれば、「人」が輝く

FUREAI MONTHLY

04 長崎知事インタビュー
やまなしキャリアアップ・ユニバーシティ(CUU) オススメの講座



賃金水準の持続的引き上げに向けた山梨県の考え方

賃金UP!

県民所得の
着実な向上を
達成する

3本柱

1 賃金水準の
引き上げ

2 生産性の
向上

3 労働参加率
の向上



賃金が上がらない世界

ふるさと山梨が活力を失い、衰退していったら
皆さんはどんな気持ちになりますか？
でも、それは現実になってしまうかもしれません。
若い世代が「頑張れば生活が豊かになる」という
確信を持たなくなれば、地域は縮小します。
そんな危機を乗り越えるためには、どうしたら良いのでしょうか。
その答えは、「賃金水準の持続的な引き上げ」です。
その背景を特集しました。

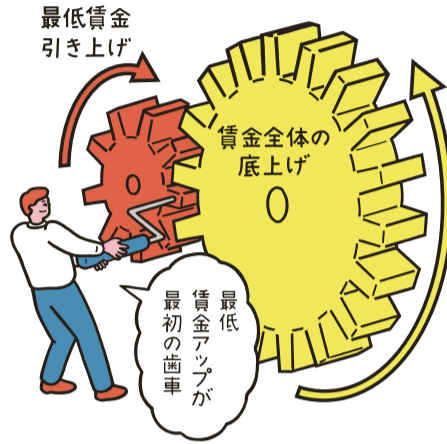
QUESTION

なぜ今、賃金水準の引き上げは必要なの？

持続的な賃金アップは、県民の豊かな生活を支え、「頑張れば報われる」社会の土台となります。最低賃金の引き上げは、賃金全体の底上げに波及します。つまり、賃金水準をアップする「最初の歯車」なのです。

最低賃金の引き上げに向け、県独自の企業実態調査を通じて科学的かつ客観的な議論のベースとなるデータの整備を進めています。

また、持続的な賃金向上の実現には、企業の収益力を高め、その成果が賃金として分配される仕組みを社会全体に根付かせることが不可欠です。そのため「スリーアップ」の好循環、すなわちスキルアップ、収益アップ、賃金アップを一体で進める取り組みを推進しています。



賃金が上がらないと...

若者・子育て世代の流出に伴う人材不足



人材流出の危機

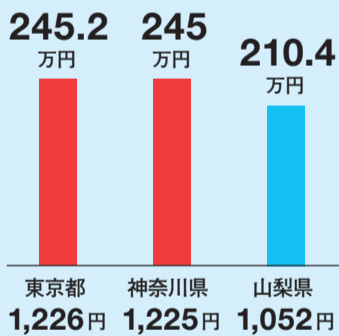
購買力低下による消費の減退



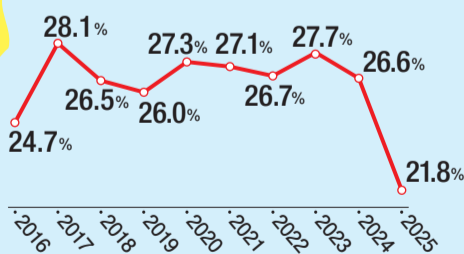
[隣都県の最低賃金]

東京都	1,226円
神奈川県	1,225円
埼玉県	1,141円
静岡県	1,097円
長野県	1,061円

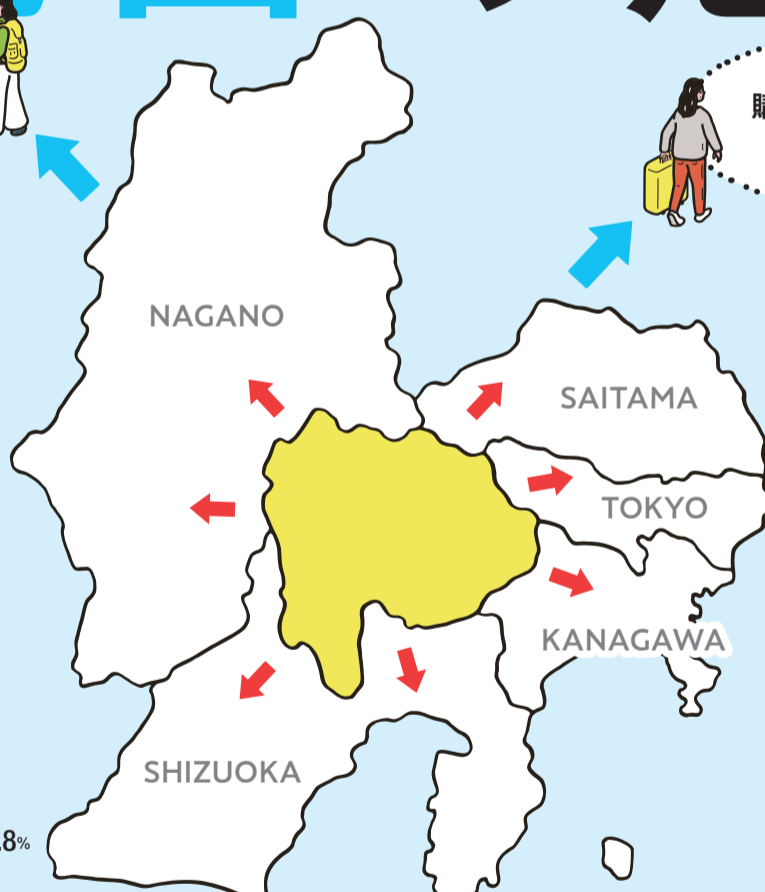
[3都県の最低賃金を年収換算すると...]



[本県出身者のUターン就職の状況]



お隣と比べ一番低い...
山梨県 1,052円
[最低賃金]



課題

年収にして約35万円の差
隣県との格差是正がカギ

2025年度、山梨県の最低賃金は64円引き上げられ、1,052円となりました。しかし隣接する全ての都県より低く、特に東京都(1,226円)、神奈川県(1,225円)とは170円以上の差があります。フルタイムで働いた場合、年収にして約35万円の差になる計算です。この明確な賃金格差が、若者たちが県外に流出する原因の一つとなっています。

物価高騰の中で、最低賃金が引き上げられてはいるものの、実質的な改善に乏しい水準にとどまっていることは、働き手の生活基盤を直撃し、県民全体の将来展望を暗くする可能性があります。日本全体でも過去30年間、賃金水準はほとんど伸びておらず、欧米諸国との差は広がる一方。EUが定めた国際基準から見れば、山梨県の最低賃金は「貧困生活を避けられない」水準にあるとされます。

全国的に賃上げの機運が高まる中、山梨県だけが取り残されれば、地域は衰退し、働き手の生活も揺らぎかねません。このままでは、若者や子育て世代は山梨を出ていき、モノを買ってくれる人がいなくなれば地域経済全体の停滞を招く恐れがあります。

この物価高騰の中で急がれるのは、最低賃金を引き上げて隣県との格差を是正することです。

将来に希望を持てる賃金水準を実現することができれば、人材流出を食い止めることにつながります。



「免許が取れたらバイクで山梨県内も巡ってみたい」と話す西山和来さん

時給が2000円も高い。
だから八王子で
バイトしています。

西山和来さん
帝京科学大学1年

「比べたら時給が2000円くらい違って。八王子の方が早くお金を稼げるんです」

帝京科学大学1年生の西山和来さんは、大学のある上野原市で一人暮らしをしています。住んでみて感じたのは「車があると山梨での生活が便利」ということ。免許を取りバイクを買おうと、アルバイトを始めることにしました。

いざ求人を見てみると、市内は「どこも『駅から車で7分』とか、歩くには難しい場所ばかり」。そこで探す範囲を隣の八王子市まで広げると、「めっちゃある！」と求人の多さに驚きました。さらに目を見張ったのが時給の差です。県境

時給も高く、求人数も多い八王子に人材が流れている



たのが時給の差です。県境をまたいだだけで金額が2000円も上がる。しかも往復880円の交通費も支給されず。それなら「少し遠くても、25分電車に乗った方がいい。空いていて座れますし」と、都内に通うのも苦に感じませんでした。

今は夏までに目標額の40万円を貯めようと、八王子の飲食店とカラオケ店で働き、夜勤までこなします。友人や先輩の何人かも八王子など条件のいい都内でバイトをしているそうです。西山さんも友人も、働くついでに東京での買い物を楽しみます。「時給の差」が若い世代の購買行動にまで影響している形です。西山さんの夢は、動物園

の飼育員になること。それをかなえるために、アニマルサイエンス学科という全国的にも珍しい学科のある帝京科学大学に入りました。千葉県内の住宅地出身の西山さんにとって、大学周辺の環境は「川があつて自然が豊かです」と好印象。ただ、「甲府などがある」反対方面には行かないです。上野原市で暮らす学生にとって、県内ほぼ全域が「反対側」。それが偽らざる実感なのでしよう。

市内の大学に県外から若者が集まってくる。それなのに、稼ぐ場所も遊ぶ場所も、その視線は県外へと向いています。こうした状況のままでは、県内に就職先を見つけてもらうのは難しいかもしれません。

賃金が上がれば、「人」が輝く。 その力が地域や企業を動かします！



山十産業社長の根本康文さん（中央）と会社を支える若手社員

賃金アップで、
社員の成長や
人材確保に
つながっています。

根本康文さん
株式会社山十産業・
代表取締役社長

代表取締役社長

賃上げは、経営者にとって痛みを伴う決断に見えるかもしれませんが。しかし実際は、会社全体に好循環を生み出すきっかけにもなります。

1965年の創業以来、砕石製造を基盤にコンベヤ

搬送設備の設計・製造など事業を広げてきた株式会社山十産業。同社は昨年、賃上げの実現に向けて大幅な組織改革に踏み切りました。当時専務で、現在は代表取締役社長を務める根本康文さんは、「業績が伸びている今こそ、次世代のために動くタイミングだと考えました」と振り返ります。

賃上げの土台となったのは、年功序列型から「やる気や技術、責任に応じて評価する」能力評価型への転換でした。新たにマネージャー

職と役職手当を導入し、成長意欲のある若手社員も責任あるポストへ登用。社員22

人のうち、昨年の4月に4人のマネージャーと5人のリーダーが誕生しました。「そのとき、かなり賃金を上げました。その分、責任を持つてもらい、業績を上げて結果を出すことをしっかりと評価する流れに変えたんです。頑張っている人を評価しなければ、不公平感も生まれますから」と根本さんは言います。

役職手当がついた社員からは「うれしいですし、今後もし勉強してもっと成長していきたい」と前向きな声がかれました。

働き方にもメリハリをつけました。稼働日に業務を集中させ、週の労働時間は変

えないまま休日を増やしたのです。現場からは「家族と過ごす時間ができた」「リフレッシュして働ける」と好評で、今春には同社の働き方に魅力を感じて転職してきた子育て世代の社員もいます。こうした改革を支えたのは、県の補助金を活用した設備投資やコスト削減でした。県が提供するスキルアップ講座にも、会社全体で積極的に参加しています。

社員の頑張りを、賃上げという確かな形で還元する。それが会社の成長にもつながっています。

県民の皆さんへ

賃金上がる仕組み自体を 根本から作り変える

長崎幸太郎 山梨県知事

賃上げという経営者から反発されやすいテーマに、あえて踏み込む長崎幸太郎知事。県の課題解決の糸口は「頑張れば報われる社会」の再構築にあると語る。その信念と具体的な取り組みを聞いた。

「賃金水準の引き上げ」に積極的に取り組む思いを聞かせてください。

「賃上げを目指せば、県内の経営者から反発や批判が出ることは覚悟していました。しかし、何度も率直な対話を重ねる中で強く実感したのは、多くの経営者が『本当は賃上げをしたい』という思いを持っているということです。

若い社員が将来に不安を抱き、『頑張っても生活が良くなる』と感じている現実を、経営者の方々が決して他人事とは思っていません。むしろ、このままでは人が育たず、人材が流出して企業も地域も続かなくなるのではないかとという危機感を我々と共有しています。

一方で、原材料費の高騰や先行きの不透明さなどから、賃金を上げたくても簡単には踏み出せないのが現実です。行政は、この難しい調整役から逃げ

山梨県知事
長崎 幸太郎



います。

最低賃金の引き上げによって、歯車が回りだし、賃金全体の水準が上がる。それに伴い企業や働く人々が生産性向上、収益向上を図って、県民所得が向上する構造になります。

最低賃金は労働局が設置する審議会で決定されますが、審議会での議論はあくまで合理的で根拠のあるデータに基づいて行われるべきです。『賃上げをすれば失業や倒産が増える』といった漠然としたイメージだけで議論が進んでは、本質が見えなくなってしまう。しっかりとデータをもとに論理的な議論を重ねれば、経営者も働く人たちも納得できる決定につながるはず」

「頑張れば報われる」
そんな社会構造を再構築

若い世代にとって、賃上げはどのような意味を持ちますか。

「山梨県に限らず日本全体で少

子化が続く根本的な要因は、若い世代が『頑張れば生活が豊かになる』という確信を持ってなくなっていることだと考えています。どれだけ子育て支援や生活支援の制度を整えても、働くことそのものに希望がなければ、若者は未来を描けないのです。このままでは地域は縮小し、若者も離れ、山梨、ひいては日本全体が持続できなくなる。今、まさにそんな危機に私たちは直面していると痛感しています。『頑張れば報われる』という社会構造をもう一回再構築する必要があります。

そのための重要なカギが『賃上げ』です。その場しのぎの対症療法ではなく、賃金上がる仕組み自体を根本から作り変えなければなりません。生産性を高め、付加価値を生み出し、その成果を賃金としてしっかりと働き手と分かち合う構造を作る。これを実現するために、働き手の『スキルアップ』を企業の『収益アップ』につなげ、さらにそれを『賃金アップ』として働き手に還元する。豊かさ共創スリーアップという施策に行政は本気で取り組んでいます」

やまなし in depth

3up連載 vol.3

3up連載 vol.4

[TOPICS]

賃上げ時代を乗り切る スキルアップから収益アップへ!

働き手の皆さんの賃金アップが実現するよう、県はスキルアップの支援をします。2024年に開設された「やまなしキャリアアップ・ユニバーシティ(CUU)」は、働く人々のために実践的な講座を提供しています。この夏のオススメ講座を紹介します。

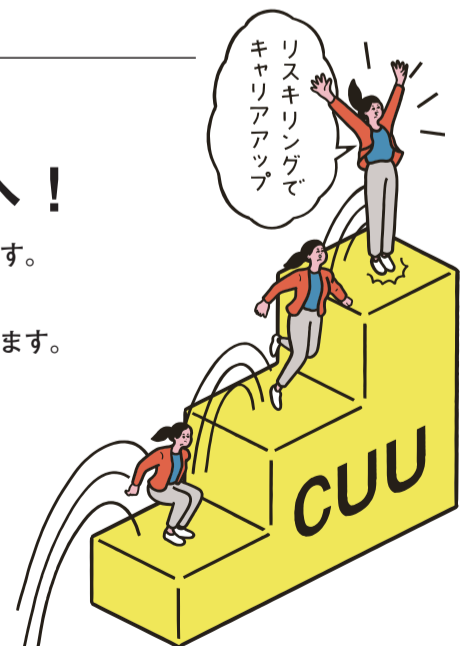
- 経営層向け

1 次の時代を見据えた経営体制を知る! 新たな経営思考講座
昨今のAI活用やDXといった環境変化を好機と捉え、経営者として動くべき姿を理解します。
- 管理職層向け

2 身近な業務から仕事が変わる! デジタル×業務改善実践講座
「まず1つ業務を減らす」ことを目標に業務改善の進め方を習得します。
- 全職層向け

3 現場で“すぐ実践出来る” 生きたコミュニケーション講座
対人関係を活性化・好転させる基本的なコミュニケーションスキルを獲得します。
- 全職層向け

4 DXの業務導入を実現する! AIツール×実践力講座
山梨県内の企業で「実際に業務で活用している事例」を踏まえて、自社での実践を目指します。



ふれあいマンスリー 増刊号
令和8年7月1日
山梨県広聴広報グループ 発行
〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1
TEL 055-223-1338 FAX 055-223-1525

次号は7月26日(日) 折り込み予定です。

